

岩手県立高田高等学校 広報



令和4年度第41号

八重の汐

技 訓
至 誠
錬 磨
創 造

感謝状を頂きました

二月十七日(金)の十三時、校長室において贈呈式が行われ、普通科一学年の三上和華さんが、JR東日本盛岡支社気仙沼統括センターの柴田博之所長様から感謝状を贈呈されました。

これは、二月二日(木)、陸前高田駅において体調不良のお客様がBRT車内で嘔吐した際、下校途中だった三上さんが、車内清掃に積極的に協力したという善行に対してのものでした。



感謝状の贈呈

生徒がレシピを考案し「りくかフェス」がメニュー化したお弁当の第二弾

二月十七日(金)、生徒がレシピを考案し「りくかフェス」がメニュー化したお弁当の第二弾が販売され、事前に注文していた本校の職員や、市内の皆さま



んが昼食としました。今回のレシピでも「ピーカンナッツ」をふんだんに使用しました。

この「ピーカンナッツ」は、ビタミンB1やB6、日本人に不足しがちな鉄、生活習慣病に役立つ食物繊維などが含まれている、生鮮食品としてナッツでは初の「機能性表示食品」になった食品です。

また、「ピーカンナッツ」は、ナッツ類の中でも多くの抗酸化物質を持っていて、アンチエイジングやアレルギーハイパー病の予防に役立つと言われています。このレシピは、海洋システム科二年生の生徒達が家庭科のフードデザイン

の授業で出された、夏季休業中の課題として、取り組み考案したものです。



オンラインでの講義

二月十七日のフードデザイン授業で、生徒達は、届けていただいたお弁当を試食しながら、調味料の選び方や減塩の方法等健康的な食生活の送り方について、りくかフェス様の管理栄養士の方から講義を受け、ちょっとした分量の配分や材料の下ごしらえの方法の違いで美味しさが増すことを教えていただきました。

高田小学校で行った防災を考える授業の二回目

二月二十日(月)、防災マイスターの活動を展開



授業の様子

する本校普通科二年三組の小野寺麻緒さんが、母校である陸前高田市立高田小学校の一年生に、防災の授業を行いました。今回の授業は、十二月五日に行なった「幼い子どもが使う防災リュックの中学生と一緒に考える授業」に続く二回目のものでした。授業では、完成した防災リュックに子ども用の軍手や食料品なども入れたものを児童に寄贈するとともに、自身の東日本大震災津波発生時の記憶をたどりながら「命を守るための行動をみんなにも考えたい」と伝えました。

- 主菜
- ・豚肉とナッツのオイスター炒め
 - ・ピーカンナッツクリームパスタ
- 副菜
- ・ツナとじゃがいものピーカン炒め
 - ・ピーカン春雨スープ
- ご飯
- ・鮭ごはん

た。今回寄贈した防災リュックは、本校の総合的な探究の時間を中心とした探究活動である「T×ACT ION PROJECT (タクシヨンプロジェクト)」の一環で、障害者アートの商品化などを手掛ける盛岡市のヘラルボニ様と連携し、震災の教訓を生かした子ども向けのリュックとして制作し、この度三百袋が完成したものです。



防災リュック



本校の公式ホームページにアクセスするQRコード



note における本校のページにアクセスするQRコード